

第3章 教育研究組織

(1) 現状の説明

点検評価項目①：大学の理念・目的に照らして、学部・研究科、附属研究所、センターその他の組織の設置状況は適切であるか。

【評価の視点】

- 1：大学の理念・目的と学部(学科又は課程)構成及び大学院研究科(研究科又は専攻)構成との適合性
- 2：大学の理念・目的と附置研究所・センター等の組織の適合性
- 3：教員研究組織と学問の動向、社会的要請、大学を取巻く国際的環境等への配慮
- 4：教育研究組織の観点から、COVID-19 への対応・対策として、どの様な措置を講じたか

1) 本学は、「不断前進」の理念のもとに学是「仁」を大切にしながら、「三無主義」を学風として掲げ、「健康総合大学・大学院大学」として、教育・研究・医療そしてリベラル・アーツを通じて国際レベルでの社会貢献と人材育成を進めている。現在、医学、スポーツ健康科学、看護学、理学療法学、診療放射線学及び国際教養学の分野に6学部と3大学院研究科を設置している。学部として、医学部（入学定員135名）、スポーツ健康科学部（同410名）、医療看護学部（同200名）、保健看護学部（同120名）、国際教養学部（同240名）、保健医療学部（同240名）を置き、大学院研究科として、医学研究科（同：修士課程40名、博士課程180名）、スポーツ健康科学研究科（同：博士前期課程61名、博士後期課程10名）、医療看護学研究科（同：博士前期課程25名、博士後期課程10名）を置いている。学問の動向、社会的要請、国際的環境に鑑みて、「健康総合大学・大学院大学」として必要な教育研究組織を整備しており、近年の組織拡充は次のとおりである。

（大大評3-1 学校法人順天堂組織規則 別表第1 学校法人順天堂 組織機構図）

（大大評3-2 令和2年度 事業報告書

- 「1. 法人の設置する学校」、「2. 医学部附属病院」、
- 「3. 大学院附属研究センター及び大学附属研究センター」、
- 「4. 法人の設置する大学院・大学の入学定員、学生数等」

（大学基礎データ 表1）

2) 医学部では、政府の「新成長戦略(平成22年6月18日閣議決定)」等を踏まえた増員計画を文部科学省に申請のうえ認可され、これまで段階的に入学定員の増員を行ったが、暫定的な増員(35名分)は2019(平成31)年度で終了となった。政府の「経済財政運営と改革の基本方針2018(平成30年6月15日閣議決定)」を踏まえた地域の医師確保等の観点からの医学部入学定員の増加について、文部科学省に増員の申請を行い認可されたことから、2021(令和3)年度については、医学部入学定員は136名となった。入学定員増に伴う医学部の入学定員数の推移は次のとおりである。

平成21年度定員 105名→110名	平成28年度定員 127名→130名
平成22年度定員 110名→119名	平成29年度定員 130名→137名
平成23年度定員 119名→120名	平成30年度定員 137名→140名
平成24年度定員 120名→121名	平成31/令和元年度定員 140名
平成25年度定員 121名→124名	令和2年度定員 140名→135名
平成26年度定員 124名	令和3年度定員 135名→136名
平成27年度定員 124名→127名	

第3章 教育研究組織

- 3) スポーツ健康科学部では、2021(令和3)年度から入学定員を410名から600名へ増員すべく、2020(令和2)年3月、収容定員に係る学則変更認可申請書を文部科学省へ提出した。また、2020(令和2)年4月、定員増と同時にを行う学科再編(3学科から1学科6コース制)に伴う学科設置届出書も提出し、2020(令和2)年8月、設置認可となった。
- 4) 浦安市日の出地区(約40,000㎡)に保有する校地を活用し、臨床検査技師、臨床工学技士を養成する学部を設置すべく、2021(令和3)年3月、文部科学省に収容定員関係学則変更認可申請書を提出した。
- 5) 大学院医学研究科では、医科学専攻(修士課程)に設置する既存の3コース(医科学、公衆衛生学、遺伝カウンセリング)に加え、2021(令和3)年度から新たに2コース(データサイエンス、ヘルスコミュニケーション)を開講することとした。また、近年の入学人数増加の実態に対応するため、2021(令和3)年度より、医科学専攻(修士課程)の入学定員を40名から60名に増員すべく文部科学省へ届出を行った。
- 6) 大学院医療看護学研究科では、教育研究組織の強化を図り、近年の入学人数増加の実態に応ずるため、2020(令和2)年度、博士前期課程の入学定員を20名から25名に増員した。
- 7) 各学部における教育研究組織は、教授会を中心に運営されている。教授会が教育研究に関する運営全般をマネジメントしており、下部組織として、教務委員会、カリキュラム委員会、カリキュラム評価委員会、教員人事委員会等、各種委員会を置いている。
- (大医3-1 令和2年度 医学部委員会等委員一覧)
 (大ス3-1 令和2年度 スポーツ健康科学部(さくらキャンパス)委員会等委員一覧)
 (大医看3-1 令和2年度 医療看護学部(浦安キャンパス)委員会等委員一覧)
 (大保看3-1 令和2年度 保健看護学部(三島キャンパス)委員会組織)
 (大国教3-1 令和2年度 国際教養学部委員会一覧)
 (大保医3-1 令和2年度 保健医療学部委員会一覧)
- 8) 大学院各研究科における教育研究組織は、研究科委員会を中心に運営されている。研究科委員会が教育研究に関する運営全般をマネジメントしており、医学研究科及びスポーツ健康科学研究科では、下部組織として、検討委員会、教員人事委員会等の各種委員会を置いている。医療看護学研究科では、適宜ワーキンググループ等を編成しながら、研究科委員会で教育研究に関する検討・審議を行っている。
- (大医3-1 令和2年度 医学部委員会等委員一覧)
 (大院ス3-1 令和2年度 スポーツ健康科学研究科委員会等委員一覧)
 (大院看3-1 令和2年度 医療看護学研究科(浦安キャンパス)委員会委員一覧)
- 9) 大学院・学部の教育・研究力の強化を図るために、研究分野横断的な共同研究を推進し、その成果を学部・大学院教育及び社会に還元するため、研究基盤センター、アトピー疾患研究センター、老人性疾患病態・治療研究センター、疾患モデル研究センター、環境医学研究所、スポーツロジックセンター、先導的がん医療開発研究センター、ゲノム・再生医療センター、スポーツ健康医科学研究所、女性スポーツ研究センター、静岡災害医学研究センター、難病の診断と治療研究センター、ジェロントロジー研究センター、革新的医療技術開発研究センターを設置している。
- 10) 部門横断型の機関プロジェクト研究の推進を図り、順天堂ブランドとなるプロジェクト研究の情報発信拠点として、健康総合科学先端研究機構を設置している。

第3章 教育研究組織

11) 医学に関する教育・研究の臨床の場であるとともに、またその成果に基づく社会貢献の実践の場として、医学部に6つの附属病院（合計病床数3,472床）を置いている。高度な最新医療を提供する都会型病院である本院機能を果たす順天堂医院及び高度な最新医療とともに地域医療に関する教育・研究を担当する静岡病院、浦安病院、順天堂越谷病院、順天堂東京江東高齢者医療センター、練馬病院で構成されている。卒前・卒後の学生や研修医等に対して、高度な最新医療から地域医療まで、更に精神医療及び高齢者医療を相互に連携・補完して学修することのできる教育研究病院として整備している。各附属病院の特色は次のとおりである。

(1) 順天堂医院（東京都文京区、1,051床）は、特定機能病院として高度な最新の医療を提供し、先進的医療の開発・実践を行うとともに教育研修病院として卒前・卒後教育の提供、更に臨床研究中核病院として豊富な臨床研究を実施している。また、地域がん診療連携拠点病院、東京都周産期母子医療センター、東京都認知症疾患医療センター、東京都災害拠点病院、東京都小児がん診療病院エイズ診療拠点病院、がんゲノム医療連携病院としてそれぞれに専門的領域で臨床教育をしている。

（大大評3-3 順天堂医院 パンフレット）

(2) 静岡病院（静岡県伊豆の国市、577床）は、静岡県東部におけるドクターヘリ基地病院、三次救命救急センター、新生児センター、総合周産期母子医療センター、地域がん診療連携拠点病院、静岡県肝疾患診療連携拠点病院、静岡県アレルギー疾患医療拠点病院、災害拠点病院（静岡DMAT指定病院）、地域医療支援病院、臨床研修指定病院、特定行為研修指定研修機関等の医療体制を整備している。これらの特色から救急医療・周産期医療・災害医療・地域医療に関する臨床教育・研究を担当している。

（大大評3-4 静岡病院 パンフレット）

(3) 浦安病院（千葉県浦安市、785床）は、千葉県における三次救命救急センター、地域がん診療連携拠点病院、がんゲノム医療連携病院、全県（複数圏域）対応型脳卒中・急性心筋梗塞連携拠点病院、アレルギー疾患地域基幹病院、エイズ治療拠点病院、災害拠点病院（DMAT指定医療機関）、地域周産期母子医療センター、特定不妊治療実施医療機関、難病医療協力病院、東葛南部地域難病相談・支援センター、臨床研修指定病院等の診療体制の特色から、高度な医療を提供するとともに地域医療に関する臨床教育・研究を担当している。

（大大評3-5 浦安病院 パンフレット）

(4) 順天堂越谷病院（埼玉県越谷市、226床）は、埼玉県精神科救急医療事業へ参加し、協力医療機関としてメンタルクリニック（精神科）を中心に埼玉県の地域保健医療計画への協力・貢献度も高めている。その結果、病病・病診連携を図り、精神疾患を有する患者の身体合併症の対応及び難病医療のため内科・脳神経内科・皮膚科・整形外科の診療体制を整備している。これらの特色を生かし、地域医療、看護、薬学、栄養学、ソーシャルワーク等に関する教育研究を行っている。また、災害時には埼玉県災害派遣精神医療チーム（埼玉DPAT指定病院）として被災地域の精神保健医療機能を支えている。更に、埼玉県新型コロナウイルスワクチンチームと連携し、新型コロナウイルス感染症検査体制の強化等を目的としたドライブスルー方式のPCR検査の検体採取事業への参加や、地域住民に対するワクチン接種に向けた準備を進めている。

第3章 教育研究組織

(大大評3-6 順天堂越谷病院 パンフレット)

- (5) 順天堂東京江東高齢者医療センター（東京都江東区、404床〔一般275床、精神（認知症）129床〕）は、新型コロナウイルス感染症下、入口を1ヶ所に制限し来訪者は全てマスクの着用、検温、手指消毒の徹底を図り、地域医療・高齢者医療への貢献を堅持しつつ、変化する医療ニーズに対応してきた。急性期医療は、勿論のこと、「認知症疾患の医療」、「救急医療」及び「リハビリテーション医療」に関わる診断・治療を実施している。区東部の医師会等と医療連携の強化を図るため、医師向け病院紹介をWebで配信した。また、患者さんへは最新医療情報をホームページから動画で配信できるようにした。脊椎内視鏡システムを導入して高齢者、合併症を有する患者さんへ質の高い低侵襲な術式での治療が可能になった。また、患者さんの療養環境最適化に向けて電動ベッドの更新を年度計画に含み実施した。

(大大評3-7 順天堂東京江東高齢者医療センター パンフレット)

- (6) 練馬病院（東京都練馬区、429床）は、練馬区の重点施策である救急、小児・周産期、がん医療を中心とした最先端医療を担う病院である。また、災害拠点病院（DMAT 指定医療機関）としての機能を果たし、院内感染対策のモデルケースとしても整備されている。

(大大評3-8 練馬病院 パンフレット)

- 12) 医療看護学部及び保健看護学部の主たる実習施設は、医学部附属病院群である。各種実習が円滑に行われるよう、各附属病院の看護部長をはじめ看護スタッフが教員として参画して実習説明会及び実習指導者研修会を毎年開催し、学部と一体となった指導が行われている。実習委員長が、附属6病院看護部門責任者会に出席し、実習施設と学部との連携を図っている。
- 13) 保健医療学部では、高い資質を持つ理学療法士・診療放射線技師を養成するため、医学部附属病院と連携し1年次より臨床実習科目の設定や病院見学を実施している。理学療法学科においては、各種実習が円滑に進行するよう本学医学部各附属病院及び学外臨床実習施設の実習担当者と実習説明会を開催する等、学部・病院が一体となった指導環境を整えている。診療放射線学科においても、3年次から開始となる実習に向け、同様の説明会実施を予定しており学部・病院間の連携強化を図っている。
- 14) 大学院医学研究科では、医学部附属病院群において、学生の研究目的に沿った臨床研究や、専門医等申請資格要件を満たすための臨床的な指導等が実施されている。
- 15) 本学の臨床実習は、実習施設として相応しい外部評価を受けた医学部附属病院を中心に行っている。医学部附属病院が受審している外部評価は、(公財)日本医療機能評価機構の病院機能評価であり、この認定に加え、特に本院の順天堂医院では JCI (Joint Commission International) による審査を受け、次のとおり国際認証を取得している。

認定期間	評価項目
2018年12月22日～ 2021年12月21日	国際病院認証(JCI) 学術医療センター病院 認定基準 第6版
2015年12月27日～ 2018年12月26日	国際病院認証(JCI) 学術医療センター病院 認定基準 第5版

(大大評3-9 病院機能評価認定状況一覧)

- 16) 教育研究活動の質を維持し、円滑に行うための観点から、新型コロナウイルス感染症への対応として、授業については、2021(令和2)年度前期は全てオンラインで実施し、感染の状況

第3章 教育研究組織

を見極めながら後期からオンライン授業と対面授業を併用して実施した。実習についても十分な感染対策のもと、後期から開始した。「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）への対応方針」を策定し、その都度内容の改訂を行い、全学生・教職員に周知徹底し、学生・教職員の安全・健康確保と感染拡大防止に努めた。

17) 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う支援措置は、次のとおり実施した。

(1) 学費延納措置

新型コロナウイルス感染症の影響により家計が急変し、今後の修学が経済的理由により困難になった方に対する学費延納・分納措置を講じた。

(2) 各種修学支援制度や奨学金の申請手続きの支援

2020(令和2)年4月に新設された文部科学省「高等教育の修学支援新制度」をはじめとする、各種修学支援制度や奨学金の申請手続きを支援した。

(3) オンライン授業受講のための通信環境のサポート

通信機器の貸与等の必要な措置を講じた。

以上のことから、本学は、理念・目的に則し、学問の動向、社会的要請、国際的環境に鑑みて、「健康総合大学・大学院大学」として必要な教育研究組織を整備している。学部・研究科に加えて、学術横断的な共同研究を推進する各種研究センター・研究所等を設置している。また、教育・研究の臨床の場として6つの医学部附属病院を設置し、学部・研究科と連携した教育研究組織を構築できている。必要に応じ、新学部設置、入学定員増、コース新設により、組織が拡充されており、教育研究組織は適切に設置できていると評価する。

点検評価項目②：教育研究組織の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。

【評価の視点】

1：適切な根拠（資料、情報）に基づく教育研究組織の構成の定期的な点検・評価

2：点検・評価結果に基づく改善・向上

1) 第2章に示しているとおり、本学では、内部質保証の推進に必要な自己点検・評価を毎年度実施している。教育研究組織が理念・目的を実現するために適切に整備されているか、定期的に点検・評価を行い、その結果を基に改善・向上に向けて取り組んでいる。自己点検・評価運営委員会では、各部門で行った自己点検・評価を踏まえ、全学的な自己点検・評価を行っている。内部質保証推進委員会は、自己点検・評価を通して教育研究組織の適切性を把握し、その結果を学長に報告している。学長は、その報告を受け、改善を要する事項について指示を行う。

(大大評2-3 順天堂大学自己点検・評価に関する規程)

2) 教育研究組織の適切性は、各学部・研究科における教授会・研究科委員会とその下部組織である各種委員会でも、定期的な検証を行い、その結果を基にそれぞれ改善・向上に向けた取り組みが行われている。

(大大評3-10 各学部・研究科における教育研究組織の適切性の検証及び改善・向上に向けた取り組み)

3) 教育研究組織の新設・改編の手続きとして、教授会・研究科委員会で審議した結果を受け、

第3章 教育研究組織

大学協議会・大学院委員会にて、全学的な観点からその適切性・必要性について審議している。

- 4) 教育研究組織の適切性・必要性の最終的な判断は、理事会にて行っている。2020(令和2)年度では、大学院医学研究科修士課程におけるデータサイエンスコース及びヘルスコミュニケーションコース設置、医療看護学部及び保健看護学部の入学定員増、大学院医学研究科ジェロントロジー研究センター設置、スポーツ健康医科学推進機構及び国際共同研究機構設置について審議し、決定した。

(2) 長所・特色

- 1) 本学は「健康総合大学・大学院大学」として、教育・研究・医療そしてリベラル・アーツを通じて国際レベルでの社会貢献と人材育成を進め、6学部3研究科6附属病院を運営するまでに発展してきた。
- 今後も、「健康総合大学・大学院大学」として、更なる充実を図るため、社会のニーズに応じた新たな学部・大学院における新コース設置等の検討を進め、本学の使命を果たしていきたい。
- 2) 社会的な看護職へのニーズの増大や入学志願者の動向等を踏まえ、医療看護学部では、2022(令和4)年度より入学定員を200人から220人、保健看護学部では、120人から130人に変更すべく検討を行い、機関決定した。2021(令和3)年度には、文部科学省への申請を行う等、引き続き入学定員増に向けた準備を進める。
- 3) 保健医療学部では、理学療法士・診療放射線技師として医療に貢献するための更なる高度な人材育成を目的として、本学部を基礎とする大学院設置について検討を進めている。学部教育と連動し、より高度な専門的知識・技術を修得した人材育成を目指していく。
- 4) 大学院医学研究科医学専攻(博士課程)・医科学専攻(修士課程)は、研究基盤の強化を図りつつ、入学者数増加の実態に応じて定員増を図ってきた。2021(令和3)年度より、医科学専攻(修士課程)の入学定員を40名から60名に増員する予定である。
- 今後も、教育研究組織のより一層の強化を図り、入学者数増加の実態に応じるため、医学専攻(博士課程)・医科学専攻(修士課程)ともに更なる定員増について検討したい。
- 5) 大学院医学研究科医科学専攻(修士課程)では、既存の3コース(医科学、公衆衛生学、遺伝カウンセリング)に加え、新たに2コース(データサイエンス、ヘルスコミュニケーション)の授業科目を設定し、2021(令和3)年度から5コース編成となる。
- 今後も、新設コースを含めた全てのコースで教育・研究活動が適切に行われるよう安定運用を図る。
- 6) 大学院医療看護学研究科では、2019(令和元)年度、博士前期課程の入学定員を15名から20名に、博士後期課程の入学定員を7名から10名に、それぞれ増員を行った。2020(令和2)年度には、博士前期課程入学定員を25名へ更に増員する等、開設以降安定して発展を続けている。
- 今後も、教育研究組織のより一層の強化を図っていく。

(3) 問題点

- 1) 大学のブランド研究領域として、本学は、医学・スポーツ分野領域で、私立大学研究ブランディング事業に認定され、大学院には両領域の専門性を高めるための研究拠点を整備してき

第3章 教育研究組織

た。本学のスポーツ医科学に関する総合力を高めるためには、様々な部署で行われているスポーツ医科学に関連する教育・研究・診療を統括・支援する組織が必要と考えられる。全学的な組織として、スポーツ健康医科学推進機構を2021(令和3)年4月に設置をする予定である。

- 2) 文部科学省の分析によると、世界大学ランキングにおいて日本の大学の伸びしろ（世界トップ大学との乖離）があるのは「論文引用」や「国際」指標であると言われる。本学も同様の状況であり、これらの2つの指標を改善させることが本学の教育・研究レベルを更に向上させることに繋がる。この2つの指標の改善という課題を一挙に解決するために、新たな組織が必要と考えられる。全学的な組織として、国際共同研究機構を2021(令和3)年4月に設置する予定である。同機構は複数の国際共同研究センターを束ねる組織として機能し、それぞれの国際共同研究センターでは特定の課題について協定を締結した外国の大学と連携して研究を行う。その研究成果を国際共著論文として国際的な情報発信を行い、本学の教育・研究の質の向上を狙う。

(4) 全体まとめ

大学をとりまく環境変化や社会的要請に応じ、理念・人材養成目的を踏まえ、学部・研究科の設置や入学定員増等を行うとともに、新学部学科の開設を計画している。既存の組織についても、自己点検・評価、大学協議会、大学院委員会、教授会、研究科委員会等により定期的に検証を行っており、本学の理念・目的を実現するための教育研究組織が整備されている。

第3章 教育研究組織

(5) 根拠資料

資料No.	各部署の資料整理No.	資料名称
1	大大評3-1	学校法人順天堂組織規則
2	大大評3-2	令和2年度 事業報告書 https://www.juntendo.ac.jp/corp/about/information.html
3	大医3-1	令和2年度 医学部委員会等委員一覧
4	大ス3-1	令和2年度 スポーツ健康科学部(さくらキャンパス)委員会等委員一覧
5	大医看3-1	令和2年度 医療看護学部(浦安キャンパス)委員会等委員一覧
6	大保看3-1	令和2年度 保健看護学部(三島キャンパス)委員会組織
7	大科教3-1	令和2年度 国際教養学部委員会一覧
8	大保医3-1	令和2年度 保健医療学部委員会一覧
9	大院ス3-1	令和2年度 スポーツ健康科学研究科委員会等委員一覧
10	大院看3-1	令和2年度 医療看護学研究科(浦安キャンパス)委員会委員一覧
11	大大評3-3	順天堂医院 パンフレット
12	大大評3-4	静岡病院 パンフレット
13	大大評3-5	浦安病院 パンフレット
14	大大評3-6	順天堂越谷病院 パンフレット
15	大大評3-7	順天堂東京江東高齢者医療センター パンフレット
16	大大評3-8	練馬病院 パンフレット
17	大大評3-9	病院機能評価認定状況一覧
18	大大評2-3	順天堂大学自己点検・評価に関する規程
19	大大評3-10	各学部・研究科における教育研究組織の適切性の検証及び改善・向上に向けた取り組み